

ログウッドカラー

光沢が長持ち、色が長持ち、木材が長持ち

高級感のある高光沢な塗膜をつくる

屋外木部用浸透性造膜型水性保護塗料

日本建築学会 JASS18 M-307(木材保護塗料塗り)規格適合



CPG キヤピタルペイント株式会社

キャピタルペイント史上最強の耐候性を誇る

屋外木部用水性塗料！

ログウッドカラー

◎ 透明感・光沢ある仕上がりが、いつまでも！

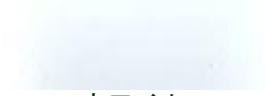
塗装杉材が JIS-K-5600-7-7 に基づく促進耐候試験（キセノンランプ法）で 2,000 時間を経過しても「光沢保持率 98%」と、仕上がり時の光沢を保ち著しい劣化はありません。剥がれにくく堅牢な塗膜をつくり、木材を長期間保護します。

● 促進耐候性試験（キセノンランプ法 2,000 時間）後の塗装杉材



◎ 木材を活かし彩るカラーバリエーション！

ペンキのような塗りつぶし仕上げにならず、透明感ある着色仕上げで木材を活かします。

 ナチュラル	 チョコレート	 ダークオーク	 チーク
 ウォルナット	 マホガニー	 エボニー	 ドリフトウッド
 キャンディレッド	 ビビッドブルー	 エメラルドグリーン	 オリーブグリーン
 メロウパイン	 ホワイト	 ブラック	 マットクリヤー(艶消し)

※ 色調は樹種により異なりますから、あらかじめ使用する基材にてご確認ください。

※ 品 種 及 び 荷 姿

標準色 15色 14kg (約 64㎡分) / 3.5kg (約 16㎡分) ※3回塗り

※ 用 途

屋外木部全般 (外壁・ベンチ・ドア・窓枠・軒天・破風など)

※ 標準塗装仕様

塗装工程	使用材料	配合量	塗装方法	乾燥時間
素地研磨	サンドペーパーNo.1 20~180			
一回目	ログウッドカラー各色	100	刷毛・スプレー・ ローラーなど 80g/m ²	2時間以上 (20~25℃)
研磨	サンドペーパーNo.180~320			
二回目	ログウッドカラー各色	100	刷毛・スプレー・ ローラーなど 60g/m ²	2時間以上 (20~25℃)
三回目	ログウッドカラー各色	100	刷毛・スプレー・ ローラーなど 60g/m ²	2時間以上 (20~25℃)
(艶消仕上の場合)	ログウッドカラー マットクリヤー	100	刷毛・スプレー・ ローラーなど 60g/m ²	2時間以上 (20~25℃)

● 他社製汎用屋外木部用塗料との比較 (促進耐候試験 2,000時間)



他社製汎用屋外木部用塗料と比較して、抜群の耐候性を示す結果が出ました！

< ! > 注意事項

- ・ 「ログウッドカラー」の優れた耐候性を発揮させるには、塗装する木材の含水率を15%前後に調整しておき、木口面・裏面を含む全面にしっかりと塗装をする必要があります。
- ・ 「ログウッドカラー」は促進耐候試験および曝露試験をおこない、塗膜の耐久性を確認しておりますが、ご使用の環境・基材により試験結果と耐久性が異なります。
- ・ 「ログウッドカラー」は、防虫・防腐・防カビ剤を含んでおり、代表的な虫や菌・カビに効果があることを確認しておりますが、すべての虫・菌・カビに効果があることを保証するものではありません。
- ・ 「ログウッドカラー」は、ホルムアルデヒド等の厚生労働省が指針値を定めたシックハウス対象化学物質を一切含んでいませんが、外部専用塗料のため建築基準法が定めたホルムアルデヒド発散建築材料F☆☆☆☆の表示対象とはなりません。
- ・ 「ログウッドカラー」には、塗料中に着色成分が混合されており、保管中に沈殿する場合がありますので、よくかき混ぜてからご使用ください。また、混合した後にも、塗料中の着色成分が沈殿する場合がありますので、塗装中も時々かき混ぜてください。
- ・ 難燃剤・漂白剤・ヤニ抜き剤等が塗布されている材の場合、「ログウッドカラー」を塗装しますと、反応により塗装不良となる場合がありますので、必ず事前にご確認ください。
- ・ 「ログウッドカラー」塗料は、長時間空気に触れると乾いて膜を生成してしまいますので、使用时以外は必ず密栓をおこなってください。
- ・ 「ログウッドカラー」塗料は、一度凍結してしまうと、解凍をしても十分な性能を発揮しません。保管状況に注意してください。
- ・ 塗装環境の気温が5℃以下または湿度が80%以上になると、乾燥・硬化が遅れますので、塗装を避けるか調整をおこなってください。
- ・ 塗装後48時間（20℃）以上経過した塗膜へ塗り重ねをする際は、塗料がはじく可能性がありますので、必ず#240ペーパーで軽く研磨をしてから塗り重ねをおこなってください。

< ! > 他、木材塗装に関する一般的な注意事項

- ・ モルタル・コンクリート・しっくい等に含まれるアルカリ成分は、木材に含まれるタンニンやリグニンと反応して変色を起こします。シュウ酸水溶液や過酸化水素水で変色部分を除去する必要があります。（アルカリ汚染）
- ・ 釘や切削工具等の鉄分は、木材に含まれるタンニン等と反応して黒く変色を起こします。シュウ酸水溶液で変色部分を除去する必要があります。（鉄汚染）
- ・ 酸性接着剤等に含まれる酸は、木材と反応して赤く変色を起こします。過酸化水素水や亜塩素酸ナトリウムで変色部分を除去する必要があります。（酸汚染）
- ・ 木材から染み出したヤニを除去せずにそのまま塗装をしますと、塗料と反応して乾燥・硬化不良の原因となります。エチルアルコールまたは塗料用シンナーで拭き取って、ヤニを除去する必要があります。
- ・ 木材の表面にあらわれたカビ類は除去してから塗装する必要があります。漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）とブラシを用いて除去したのち、漂白剤をよく洗い流して乾燥させてから塗装してください。

※ 安全面については十分に考慮した塗料ですが、SDSを必ず読み遵守してください。カタログ・SDSの記載内容は、現時点で入手可能な資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ・評価を保証するものではありません。目的に合うかどうか、必ず事前に試し塗りをおこなってください。

キャピタルペイント株式会社

（一社）日本塗料工業会正会員・Coatings Care®宣言会社
林野庁が展開する木づかい運動/ウッド・チェンジに賛同します
〒569-0054 大阪府高槻市若松町 8-10
Tel : 072-672-7330 / Fax : 072-672-7336
Homepage : <https://www.capitalpaint.jp/>
E-mail : info@capitalpaint.jp